

検討。平成二十年度は調理用の牛乳は町内のものを使用することにしました。飲用牛乳にも条件を整えば使いたい。

問一 文化財保護対策 について

宗麟原供養塔は昭和八年に国の史跡として指定され、県内でも貴重な史跡として評価されている。さらに、供養塔の博愛の精神は、地元が多賀小学校の教育目標にもなっており、教育の面からも大切な史跡である。このような意義ある供養塔の保存、整備に、町はもっと強く取り組むべきであると思う。特に、トイレの位置については問題であると思うが、町長の見解は。

答一 町長 地元の保存会に管理を委託し、草刈などはやっていただいている。毎年、供養祭に参列しているの

でトイレの現状は認識している。トイレの場所については何とかし

なければいけないとは思っている。観光資源としては東児湯観光ルートの開発の中で、文化的資源として整備

していかなければならない。観光ルートの整備の検討も進んでいるので検討課題としておきたい。



宗麟原供養塔（カンカン仏）



町営住宅の需給状況と建替事業の推進

内藤 逸子

問一 ①ひばりが丘住宅の建替事業は十八年

度に一戸建てに変更したが残り八戸について本年度予算措置もしていない。補助事業にた

た目的にそって本年度完了するべきだ。
②桜ヶ丘など五団地で入居止めをしており、供給可能な町営住宅は減る一方だ。空家政策の目的は老朽団地の建

替えであり、移転を誘導する住宅がなければ何年たっても建替える条件はできない。

③老朽団地から移転のためにも、現在四十数世帯もの待機者の解消のためにも新規の住宅建設は欠かせない。

答一 町長 種々の意見があり、総合計画を検討中だ。新規建設は二十五年以降となる。

問二 立地目的が問われる堆肥センター問題
①製造過程の粉じん飛散、悪臭の拡散防止について公害防止協定に基づいて改善命令を発するべきだ。

②有機性廃棄物の拡大が企業のねらいではないか。鶏糞の制限や種菌育成の原料受入要求は本町が求める畜糞の適正処理目的からも離れている。

③汚泥混入堆肥を本町の農業に奨励できない。本町には特殊肥料として認証される堆肥生産の事例は多い。

答二 町長 公害防止は指導に努めている。処理物件は地元の同意がなくてはできない。

問三 調理業務を直営に戻し地産地消型学校給食に

中国産ギョーザ問題は、食料の外国依存、食品業界の開発輸入の実態を示し、学校給食の食材や調理業務の安上がり論への警告ではないか。

①冷凍食品依存から国内自給、地場産を重視し、生徒が地域の農漁業の姿を知り栄養士や調理師の創意工夫を学ぶときではないか。

②本町の米飯食は二回から出発し四回まで進み炊飯施設も完備した。世界の穀物市場が高騰し、小麦の自給率も一割しかないとき日本の食文化の柱である米を中心に地産地消型給食を進めるべきだ。

③契約期間の切れる機会に企業委託をやめ、調理師の直接雇用

よって栄養士の指導や連携のもと誇りをもつて働ける体制にすべきだ。

答三 教育長 短い時間の制約の中で冷凍品を一概に否定できない。加工品について県や調査機関で厳重にチェックされている。委託契約は町議会で承認を得ている。

問四 障害者医療費助成制度の改善を
受診毎に一部負担を病院窓口で支払い一ヶ月分の証明書をまとめて役場に補助金給付の申請をする手続きの繁雑さや申請漏れをなくすためにも乳幼児医療費助成のように病院窓口での無料制にできないか。尚一〇〇〇円未満の足きりをなくすよう県に要請してはどうか。

答四 町長 十分検討したい。

問五 妊婦健康審査の公費負担の拡充を
少子化対策の一環と